



時局 對策講演座談會

來る九月三日平第三校で

本縣農會が帝國農會の指示に基き、時局對策講演座談會を演進するに際し、九月一日相馬郡原の町に於て二日は双葉郡富岡町に於て三日は平に於て催されるが、右平に於けるものは第三小學校講堂を會場とし、午前八時半から午後三時まで講師は農林省及び縣の係官並びに帝國農會、縣農會の職員、農會、郡市町村農會職員、青年學校職員、農家組合長、自給肥料増殖實行委員その他一般

聯合分會の

武術大會

來る二十八日

石城郡在郷軍人聯合分會主催の武術大會は來る二十八日午前九時から軍刀術を平第一小學校で銃劍術は平商業學校で射撃は神谷村の東部射撃場に於て行ふと

平驛の八月貨物

上中旬で二千圓增收

大ものは依然鐵と石炭

平驛今八月の貨物取扱高は舊盆氣による前年比上旬の増收一千八百二十八圓を上げた此の發着收を掲ぐれば

發送一二七噸(七四六)收到三四三噸(六九四七)收

入四四一九圓(二五九五圓)

括弧内は前年同期

で引續く中旬成績も左記の如く二百七十二圓の增收を示し

てゐる貨物種では石炭及び鐵類(屑物及び製品)が多量の大

もので季節荷としては桃の動きが稍々活況を呈してゐる

▲中旬貨物發送一〇六七噸(八五四)到着二九〇三噸(六二九九)收入三二九六圓(三〇二四圓)以上

朝鮮錫業へ

退職を表明する

本縣水産試驗場長として去る昭和十一年六月着任水産講習所長を發着任二ヶ年餘の五十嵐昭氏は當業及び所生の信望愈々今後多くの期待を置かれてゐたが同氏と深き關係ある朝鮮釜山の錫業經營の實業家が老齡と家累都合で頻りに五十嵐氏に後継を求められ遂に退職同經營に携はる決意となり辭表を表明されたので今月末までに正式退職を見るものゝ如くであるが同氏はまだ四十五才の少壯で名古屋

漁業縣聯の

製氷場

四倉港に設立認

可補助交付
石城郡四倉漁港建設位置を日獻納を市役所寄託した

明後日の俵米共販

出廻り數量六百五十六俵

相場は前回に大差なし

石城郡販賣聯合會に於ける明二十一日の俵米定期共同販賣は日曜のため二十二日に繰延べられるが今回の出荷は左記六百五十六俵で見込み相場は前回に大差なからうと云はれてゐる

▲平倉庫九俵 同二號五
○俵 同三號五〇俵 同四
號六〇俵 同五號六〇俵
同六號(雙葉米)二二〇俵
平倉五八俵 高久一六俵
草野七〇俵 大野九二俵

戦地中南支に別れたる

の便 吾等の責任は重大

平市鎌田町出身 五十嵐 孝次

吾等御伺ひ申上げます、殊更に涼味がしたわしくかつた暑さ、唯今は御便り有難度う御座いました、御尊家様には何時も御變りなく何よりで御座います、私事お蔭様にて日に増し元氣にて只々軍務にのそしみ居りますれば御幸御休心下さい、今般事情ありて部隊の移駐に伴ひ一ヶ年近く住み馴れ

日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌
日刊報日曜日誌

議案の議案審査の順序
第一議案は案の説明
第二議案は案の逐條討論
第三議案は案の修正の動議
第四議案は案の採決の動議
第五議案は案の採決の動議
第六議案は案の採決の動議
第七議案は案の採決の動議
第八議案は案の採決の動議
第九議案は案の採決の動議
第十議案は案の採決の動議

毛布献納

平市古殿
治町村木前川重治氏は前線將士の防寒に毛布四枚を廿日獻納を市役所寄託した

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

青年團の干社詣

石城郡磐崎村第二警隊の男子
五團を去る十八日國防献金す

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、磯上きよ子、武田しづ子、石塚静子の五娘は同町國防婦人會が町内出征勇士に送る慰問袋を集めてゐるのを見て各自家庭の贖品を持ち寄り賣却した金で「御國の爲めに働く兵隊さん」へと國防の慰問袋へ参加を申込み感心されてゐる

西洋料理縣聯の

同女給 風會

縣下の西洋料理業組合聯合會
並びに同女給矯風會聯合會發
會式は去る十八日郡山商工會
議所内に於て開演役員を左記
の如く決定した

▲西洋料理聯合會會長 長
小松謙吉(福島)副會長 目黒
民彌(同)佐々木健(若松)大
場末茂(郡山)高橋武(平)▲
理事 長 秀吉(福島)▲女給
矯風會聯合會長 淺野榮子(平)
副會長 大崎やい(郡山)西山貞子(福島)淺岡ち
よ(平)若木ふみ子(若松)

西洋料理縣聯の

同女給 風會

縣下の西洋料理業組合聯合會
並びに同女給矯風會聯合會發
會式は去る十八日郡山商工會
議所内に於て開演役員を左記
の如く決定した

▲西洋料理聯合會會長 長
小松謙吉(福島)副會長 目黒
民彌(同)佐々木健(若松)大
場末茂(郡山)高橋武(平)▲
理事 長 秀吉(福島)▲女給
矯風會聯合會長 淺野榮子(平)
副會長 大崎やい(郡山)西山貞子(福島)淺岡ち
よ(平)若木ふみ子(若松)

西洋料理縣聯の

同女給 風會

縣下の西洋料理業組合聯合會
並びに同女給矯風會聯合會發
會式は去る十八日郡山商工會
議所内に於て開演役員を左記
の如く決定した

▲西洋料理聯合會會長 長
小松謙吉(福島)副會長 目黒
民彌(同)佐々木健(若松)大
場末茂(郡山)高橋武(平)▲
理事 長 秀吉(福島)▲女給
矯風會聯合會長 淺野榮子(平)
副會長 大崎やい(郡山)西山貞子(福島)淺岡ち
よ(平)若木ふみ子(若松)

西洋料理縣聯の

同女給 風會

縣下の西洋料理業組合聯合會
並びに同女給矯風會聯合會發
會式は去る十八日郡山商工會
議所内に於て開演役員を左記
の如く決定した

▲西洋料理聯合會會長 長
小松謙吉(福島)副會長 目黒
民彌(同)佐々木健(若松)大
場末茂(郡山)高橋武(平)▲
理事 長 秀吉(福島)▲女給
矯風會聯合會長 淺野榮子(平)
副會長 大崎やい(郡山)西山貞子(福島)淺岡ち
よ(平)若木ふみ子(若松)

西洋料理縣聯の

同女給 風會

縣下の西洋料理業組合聯合會
並びに同女給矯風會聯合會發
會式は去る十八日郡山商工會
議所内に於て開演役員を左記
の如く決定した

▲西洋料理聯合會會長 長
小松謙吉(福島)副會長 目黒
民彌(同)佐々木健(若松)大
場末茂(郡山)高橋武(平)▲
理事 長 秀吉(福島)▲女給
矯風會聯合會長 淺野榮子(平)
副會長 大崎やい(郡山)西山貞子(福島)淺岡ち
よ(平)若木ふみ子(若松)

西洋料理縣聯の

同女給 風會

縣下の西洋料理業組合聯合會
並びに同女給矯風會聯合會發
會式は去る十八日郡山商工會
議所内に於て開演役員を左記
の如く決定した

▲西洋料理聯合會會長 長
小松謙吉(福島)副會長 目黒
民彌(同)佐々木健(若松)大
場末茂(郡山)高橋武(平)▲
理事 長 秀吉(福島)▲女給
矯風會聯合會長 淺野榮子(平)
副會長 大崎やい(郡山)西山貞子(福島)淺岡ち
よ(平)若木ふみ子(若松)

▲西洋料理聯合會會長 長
小松謙吉(福島)副會長 目黒
民彌(同)佐々木健(若松)大
場末茂(郡山)高橋武(平)▲
理事 長 秀吉(福島)▲女給
矯風會聯合會長 淺野榮子(平)
副會長 大崎やい(郡山)西山貞子(福島)淺岡ち
よ(平)若木ふみ子(若松)

青年團では同坑出身勇士のた
め武運長久祈願に自轉車隊を
つくり一班十名づつ五班に分
れて千社詣りをしてゐると

恤兵金百圓

石城郡高久村の下高久字前の
内藤谷警隊長は去る十九日金
百圓を恤兵金方を村役場に
寄託した

高橋市議

刑事協會へ平市白銀町市會議
員高橋龜松氏は昨十九日本縣
刑務協會平支部へ金百圓を寄
附した

金百圓寄附

刑事協會へ平市白銀町市會議
員高橋龜松氏は昨十九日本縣
刑務協會平支部へ金百圓を寄
附した

湯本尋六女生が

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

慰問袋

石城郡湯本町小學校の尋六女
生高橋登美枝、三宅やい子、
磯上きよ子、武田しづ子、石
塚静子の五娘は同町國防婦人
會が町内出征勇士に送る慰問
袋を集めてゐるのを見て各自
家庭の贖品を持ち寄り賣却し
た金で「御國の爲めに働く兵
隊さん」へと國防の慰問袋へ
参加を申込み感心されてゐる

德三郎四男實(心)は本年四月
石城郡好間村の古河炭礦で働
いて來ると家出不明となつた
が目下病氣危篤の實母が一と
目途ひたいと云つてゐるので
今二丁目平野に實父德三郎か
ら搜索願が出た

坑夫上りの賊今

石城郡内郷村の高坂字館野九
五元神奈川炭礦坑夫鈴木一夫
(三)は去る五月仙台刑務所を
放免された前科者だが本月九
日午後八時頃平市字堂前平野
便局員渡邊傳喜氏方の車家不
在に忍び入り衣類十五點價格
百六十圓を窃取したことは當
時報の如く其の翌日平野の
手に捕はれ餘罪取調べ中であ
つたが今十九日書類と共に身
柄を送局される

妻と四人の子を

西白河郡小野田村大字上野出
島和田たけ(元)婿養子會田林
治三は昨年九月出稼に行
つて來ると妻と四人の子を
頭に四人の子供を置いて出
たまふ所在不明となり留守中
に於てたけは夫の丑藏に先き
立たれ娘きよも病弱のため生
活にも困つてゐるからと前記
たけから今日二十日平野に搜
索方を願出た

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

行方搜索願

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう覺
悟しなければならぬ。故に
吾人の要求する生き直し

危篤の母に伴の

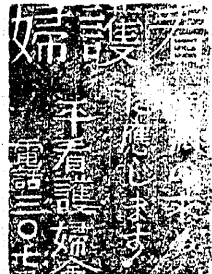
岩手縣和賀郡十二箇村の石川
市制の確立を天下に公告せ
らるゝに至つたのは、郷土
進歩の爲め人は郡下を舉げ
て慶祝に堪へない。従つて
今後に於ける吾人の理想は
該市の運用奈何に因つ
て、郷土政治の良否に影響
するのであるから、一層自
重して之を考究し、將來に
過誤と無効果の無きやう

産業方面

皮革原料を 水産物に(三)

品質は猫皮を凌ぐ
 而して稍々斜めの交叉をなして積み重ねてあるので一度水に濡れても乾燥後決して硬化しない、次に袋物などとする場合その表皮の維様(シボ)が非常に變つてゐる模様の進歩した今日でもちよつと出来かねる形のものでこの點が非常に珍重される、また獸皮の袋物は靴のやうに油を塗つて表皮を保護する際にかねのて長く持つてゐる間に表皮が擦れるために白く毛立つて来るが、鰵皮はこれがなく持つてもつほど光澤を増して来ることも袋物の材料として優秀な點である、製品として見れば、かく幾多の長所をもつ鰵皮であるがこれを採るには非常な困難が伴ふ、それは鰵皮は毛がない代りに例の鰵肌と示はれる棘を表面一帯無數に備へてゐる、これが實に難物で毛はアルカリで処理し或は軽い鹼液を利用すると簡単にぬけるが、足はなかなか、斯様な簡単な操作では抜けない、是が研究に十年も十五年もかゝつた所以である、毛は簡単に蛋白質が根柢状をして表皮の中に植へ込まれてゐるに過ぎないが、鰵棘はビラミットの先きが曲つたやな形をしたものがその底部を深く堅固な表皮の中に埋め込んでゐるしかもその質は角質に珪酸鹽を交へた極めて硬固なものであるから、尋常一様な薬劑では浸されぬ、過去十五年に餘る研究の結果、強烈な硫酸を用ひることが發明されこの研究は漸についた、しかし強い硫酸は同時に皮膚を弱めるので、これを調和すべく幾多の研究發明を経て遂に一昨年頃完全と云ひ得る鰵皮法が完成され此の方の研究は一段落つた、

スペイン G.H.N 元詰
ゴルフポートワイン
 甘味葡萄酒 1・20
 貴婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋薬舗 (電3)



藤沼醫院
 平市紺屋町 電五〇七

内科、小兒科 平市田町 電話五二三番
 外科、花柳病科
 耳鼻咽喉科
高久病院
 院長 醫學士 高久忠

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
 平市新川町「電話三六九番」

御婦人用 御子様用
陳列
簡單衣
豊富
ツルヤ 平電一四〇

外科一般 内臓外科
 レントゲン科 泌尿器科
北川外科
 診察 晝夜
 (血液検査毎日) 平市新川町二七(電四六四)
 イツデモ 醫學博士 北川芳夫
 入院デキマス 技師 三浦常保

産科 院長 **木村寅次郎**
 婦人科 醫學博士 **内木宗八**
外科 藥劑師 大岩俊雄
 平市新川町九一
木村病院
 入院隨意 病室完備 電話一六四番

靴 の修理は
 革を使用せずに
「革の素」 で
 (專賣特許)
 定價 小40 中60 大70
 皮革材料品種の折柄靴は履き捨てに成らずに革の織にて御修理下さい、御使用法は至つて簡單で誰にでも容易で在來の革より數倍勝る耐久力があります、其の他、スリッパ、草履、ゴム製品、下駄等萬能接合劑として重寶、是非一度御試し下さる様
 製造元 東京 昭理化學研究所
 特約店 平市大町二三三 山野邊セメ瓦工業所

食事 喫茶 酒場を兼ねた。
サロシ
 レストラン
 町田平 二五三電

平市搔籠小路
大河内 整形科醫院
 電話五八八番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
 平代理店 關内正一
 平町二丁目 電話一六番
 事務取扱者 阿部助次郎

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
 入院應需(自炊の便あり)
 電話六六九番

和洋銅鐵、金物問屋
益屋商店
 九九・九電

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科
 診療時間 午前八時より 午後九時まで
 醫學博士 江尻伊三郎
 平市田町 電話六九一番
江尻醫院